

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あすなる

作成日: 平成23年2月24日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	2,3,4,5,29	地域に根差した施設を目標に、積極的な話し合いをしている運営推進会議も、将来的に出席者の固定化に伴い会議内容も定着化してしまうことが懸念される。	構成員委員以外にも、幅広い地域住民の方々の出席を柔軟に検討し、更なる理解・協力の下、施設運営が円滑に、且つ地域に開かれたものとなるように努める。	・自治会婦人部の部長、敬老会の会長、隣接者等幅広く声を掛け、柔軟で実のある会議(情報交換)の場の継続・発展を図る。 ・会議での議事録は、出席者のみに留まらず、全家族へも配布し、更に理解と協力が得られる取り組みとして有効に活用する。 12ヶ月
2	19,20,48,49	入居者の全体的な重度化に伴い、屋外での介助なしの歩行が難しくなり、日常的な散歩や全員での遠出外出が困難になってきている。	月1回の外出以外にも、個々に合った外出の場所や方法を模索し、外気浴も兼ねた気分転換、また刺激や楽しみのある生活を送っていただけるよう努める。	・担当者を中心に、お一人お一人現在の心身の状態の再確認、把握をする。 ・ご家族や馴染みのある方等の情報を基に、時にはご協力を得ながらご本人の体力を考慮し、且つ馴染みのあった場所等に外出する等、個別支援が柔軟にできる体制を整える。 ・外出先の希望の聴取を積極的に行い、心身の状態に合わせた外出支援に努める。グループ別外出も試みる。 ・天候の良い日には、これまで同様庭先での外気浴や近隣への散歩等が継続できるように努める。 12ヶ月
3	35	ホーム内における非常時や災害時の地域協力体制がまだまだ不備であるため、地域の協力が不可欠である。	地域住民の方々の協力を得て、非常時や災害時のネットワークを構築するための会議を開催し、他施設の火災訓練のDVD等を鑑賞していただき認識を深める。	・自治会に回覧によって避難訓練の見学参加への依頼 ・地域と役割分担を明確にした避難訓練に参加の要請をする。 ・防災グッズの備蓄。 ・地域との防災協定の締結 12ヶ月 継続目標
4				ヶ月